

## 古賀中学校のビジョン【方針・方向性】



### 1. 子供が主語の「はじめに子供ありき」

子供は誰でもできるようにになりたい、よりよくなりたいと願う存在であることを念頭におく。(～しなさい→～したいへ)

### 2. ウェルビーイングを追求する

心理的安全性を保障し、子供はもちろん、教職員、保護者、地域のウェルビーイングを常に追求する。

### 3. 何よりも命と人権を優先する

命と人権を守り、ダイバーシティ(多様性)を尊重する。

### 4. ワクワクとトキメキを大切にする

校内が常にワクワクとトキメキが溢れ、保護者や地域にも波及するようなパッション(情熱)をたぎらせる。

### 5. 好奇心と思いやりの心を持つ

アントレプレナー(夢をかたちにする人)になれるよう、好奇心と思いやりの心(利他の心)を大切にする。

## 古賀中学校のパーパス【理念・存在意義】

全ての子供が自立して社会で生き抜くための基礎となるあらゆる力を培う学びの場であり、社会総掛かりで子供達を育むため、保護者、地域がパートナー(仲間や家族のような存在)やサポーター(活動を支持、後押しする存在)として機能するよう、ジェネレート(一緒になって創造)する拠点であり続ける。

# 令和5年度 学校経営要綱

古賀中学校 校長 村山 公之

## I 学校経営の基本構想

### (1) 学校経営の基本や基盤

ア 日本国憲法、教育基本法、学校教育法をはじめとする教育関係法規、子どもの権利条約、学習指導要領を基盤とし、福岡県教育施策実施計画及び古賀市教育大綱、古賀市教育行政の目標と主要課題に則り、生徒や保護者、地域及び学校の実態に即して教育を行う。

イ 中立性を確保し、公共性、公益性を目指して生徒の学習する権利を保障し、その実態を保護者や地域に公開することを原則とする。

ウ 福岡県人権教育啓発基本指針、学校教育における在日外国人の人権に関する指導上の指針、古賀市人権施策基本方針に基づいて人権教育を推進する。

### (2) 学校の教育目標

ふるさとを愛し、互いの命と人権を守り、好奇心と思いやりの心を持って、夢をかたちにしようとする生徒の育成

### (3) 具体目標

#### ア 目指す生徒像

- ① 自ら課題をみつけ、好奇心を持って、自らの夢の実現のために試行錯誤を積み重ねる生徒 <自主>
- ② 自他の命と人権を守り、思いやりの心(利他の心)を持って、互いの夢の実現のため高め合える生徒 <協同>
- ③ イノベーションを起こそうと、ワクワクとキメキを感じながら、創意工夫を重ね、粘り強く努力する生徒 <創造>

#### イ 目指す学校像

- ① 「はじめに子供ありき」の精神のもと、生徒の可能性を信じ、教育活動が展開される学校
- ② 生徒一人ひとりが自立して社会を生き抜くための基礎となる学びを育む学校
- ③ 保護者、地域がパートナーやサポーターとして機能するようジェネレート(一緒に創造する)する学校

#### ウ 目指す教職員像

- ① 生徒の命と人権を守り、保護者の願いに寄り添い、未来志向で愛情をもって寄り添う、情熱溢れる教職員
- ② 法令遵守への高い意識をもち、積極的に自己研鑽に取り組み、社会から信頼される高い倫理観を持った教職員
- ③ 保護者、地域と協働して、将来を担う人財をともに育もうとする、つながりを大切にす教職員

#### エ 目指す授業像

- ① 前のめりになる、対話したくなる、既存の知識・技能を活用せざるを得ない、学びの必然性がある授業
- ② 自己存在感、共感的人間関係、自己決定の場、安心・安全(心理的安全性を含む)な環境が保障されている授業
- ③ ICT 機器の活用などによる個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実した授業

#### オ 期待する保護者像

- ① 学校のパートナーとして、子ども達の命と人権を守り、ダイバーシティ(多様性)を尊重することに努める保護者
- ② 保護者自身、我が子はもちろん、その他の生徒のウェルビーイングも追求する保護者
- ③ 我が子の保護者として、そして、その他の生徒を育むサポーターとして、学校、地域と協働する保護者

#### カ 期待する地域像

- ① 保護者、学校のパートナーとして、子育てを応援する地域
- ② 生徒の命と人権を守り、学校とともに防犯・防災・安全に努める地域
- ③ 保護者、学校のサポーターとして、教育活動を支援し協働する地域

#### (4) 本校の教育課題と経営課題

##### ア 教育課題

- ① 内発的動機付けによってやりがいを感じ、主体的に粘り強く学ぼうとする意欲の向上
- ② ワクワクやトキメキを感じ、好奇心旺盛に夢や希望をかたちにしようとするための探求的な学びの充実
- ③ 地域や社会で自立して生き抜くための自治力や思いやりの心(利他の心)の醸成
- ④ ダイバーシティに対応した個別の課題に迅速かつ適切に対応できる人権感覚の涵養

##### イ 経営課題

- ① 令和日本型学校教育における教育課程を充実し、不易と流行を見極めつつ、挑戦を恐れない姿勢の構築
- ② 「はじめに子供ありき」を徹底したり、暗黙知を共有したりするために必要な対話の充実
- ③ 全ての教職員でサポートし合えるシステムの充実
- ④ 保護者や地域に、パートナーやサポーターとなってもらうための、ジェネレーターとしての役割の推進
- ⑤ 物価高騰に伴う保護者の負担を軽減するための取組の推進

## 2 本年度の経営の重点

### (1) 本年度の重点目標

**好奇心と思いやりの心を持って、粘り強く努力する生徒の育成**

### (2) 重点目標達成のための方策

#### ア 教育活動の充実

- ① 「ふるさと学校」として、保護者、地域がパートナーやサポーターとして機能するようジェネレート(一緒に創造する)する拠点となり、古賀市の将来を担う子どもの育成に努める。
- ② 前のめりになる、対話したくなる、既存の知識・技能を活用せざるを得ない、学びの必然性がある授業改善に努め、生徒が自立して社会で生き抜くための基礎となるあらゆる力を育む。
- ③ 令和の日本型教育に則った、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるために、ICT機器を創意工夫して日常的(毎時間)に活用した授業を行う。
- ④ 生徒指導提要(改訂版)に基づき、「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」「安心・安全な環境(心理的安全性を含む)が保障されている」授業やあらゆる教育活動を推進する。
- ⑤ ダイバーシティをはじめ、人権教育の視点に立った授業づくり、人間関係づくり、環境づくりを行い、すべての生徒の学力と進路の保障に努める。
- ⑥ グループ担任制の導入により、生徒や保護者が様々な教職員と関わりを日常的に持ち、いつでも相談しやすい体制を整える。

#### イ 組織運営の充実

- ① 「立ち話」ミーティング等で小さなOODAループを迅速に機能させ改善につなげるとともに、会議時間を大幅に縮減し生徒に寄り添う時間の確保に努める。一方で「はじめに子供ありき」の徹底や、暗黙知を共有するために必要な場面では、しっかりと対話する時間を確保する。
- ② 教職員相互の「感謝」の表現、「寛容」の雰囲気、「思いやり」の表明を重視することで、教職員のウェルビーイングを追求し、生徒、保護者、地域のウェルビーイングの充実に活かす。
- ③ グループ担任制を導入し、教職員同士が日常的に支え合い、孤立させないシステムを構築する。
- ④ 新しい課題が次々に発生し、変化が著しい令和の時代に対応するため、これまで行ってきたPDCAサイクルから、OODAループ(ウーダグループ)にシフトする。

#### ウ 内外環境の充実

- ① 誰もが落ち着いて学べる特別支援教育の視点(UD)に立った学習環境づくりに努める。
- ② 「はじめに子供ありき」の視点に立って、誰一人取り残さないためにICTを活用する。

## エ 人権教育の充実

- ① 人権教育推進委員会を中心に、組織的・計画的・意図的に人権尊重を中心に据え、ダイバーシティが日常化するような学年・学級づくり、学習環境づくり・言語環境づくりに努める。
- ② 人権教育副読本「かがやき」「あおぞら」「ひかり(古賀市人権教育副読本)」の積極的な活用と個別の人権課題やSNS等におけるネット差別、LGBTQ等を題材にした授業に取り組むなど新たな人権学習の充実に努める。

## オ 特別支援教育の充実

- ① 通常学級において特別支援教育の視点(UD)に立った授業づくりを推進し、特別な教育的配慮を要する生徒をはじめ、すべての生徒に対して、特別支援学級担任、特別支援教育支援員、SC、SSWと学年職員で協力しながら、きめ細かな支援に努める。
- ② 特別支援学級及び通級指導教室に在籍する生徒、またステップルームや保健室、あすなろ教室等に登校している生徒、不登校となっている生徒、一人ひとりの特性と、教育的ニーズに対応した個別の配慮を実施する。

## カ キャリア教育の充実

- ① 3年間を見通した教科横断的なカリキュラムマネジメントを仕組み、探求的な学びを充実させ、アントレプレナー(夢をかたちにする人)になれるよう、好奇心と思いやりの心(利他の心)「生き方」支援の充実に図る。
- ② 「自らをコントロールする力」「他者とつながる力」「新しい価値を創造する力」を育む支援の方法を検討する。

## キ 特別活動の充実

- ① 自分の意見を発表し、異なる意見を聴き入れる対話の充実とともに自治力を身に付けた生徒の育成に努める。
- ② 生活する集団としての円滑な関係を築き、互いに学び合う学習する集団としての資質の向上に努める。

## ク 図書館教育の充実

- ① 主体的な読書活動や生徒会図書委員会によるビブリオバトル等を通して、図書館教育の推進に努める。
- ② 子育てサロンや学校さんぽ等で、積極的に地域へ図書館を開放し、「ふるさとの学校」としての役割を果たす。

## ケ 強い小中連携の充実

- ① 古賀中学校区連絡協議会を通して、小学校との情報交換と交流を行う。
- ② 校区内の小中で学習指導・生徒指導の方針を統一し、小中で9カ年連携した教育活動をすすめる。

## コ その他の活動の充実

- ① 朝鑑賞で生徒の感性を育み、教職員のファシリテーション力を高める。
- ② 清掃活動等をとおして、思いやりの心(利他の心)を育む活動の場とする。
- ③ 市が取り組むスポーツ行事、健康・福祉・清掃行事に積極的に参加し、「ふるさとの学校」づくりを推進する。

## サ 働き方改革と不祥事防止の取組

- ① 週時程を基本的に26コマで設定し、生み出された時間を有効に使えるようにする。
- ② 平日の部活動3回、2時間とし、清掃活動を部休日にものみ設定し、放課後の時間を生み出す。
- ③ 様々な知恵やアイデアを教職員から募集し、議論して、積極的に試行していく。
- ④ 定時退校日は、確実に定時で退校するのが当たり前の職場の雰囲気を醸成する。
- ⑤ スクールコンプライアンスの日を設定し、職員研修の実施や不祥事防止のためのチェックリストやAUDITを実施する。また、評価面談時を活用して、ヒアリングを実施し、法令遵守意識を高める。

### 【重点目標を達成するための行動化された生徒と教職員の姿】

～生徒と教職員の行動化された姿をそろえることで互いのウェルビーイングを高め合うことができる～

- <生徒>褒め合い(褒め愛)・・・人の違いを理解し、よさを褒め合う生徒の姿  
<教職員>感謝の表現・・・日常的に感謝の言葉や行動を取り合う教職員の姿
- <生徒>許し合い(許し愛)・・・自他を大切に、相手の立場を尊重して許し合う生徒の姿  
<教職員>寛容の雰囲気・・・あたたかい言葉で仲間を支援する教職員の姿
- 認め合い(認め愛)・・・主体的に学び、お互いを認め合う生徒の姿  
<教職員>思いやりの表明・・・互いに気遣い、尊重し合う教職員の姿